

第6章 製表結果の精度確保に必要な措置

第1節 製表結果の精度確保の対策

製表結果の精度確保については、実施状況の監視、達成状況の評価、更なる活動内容の見直しを行い、製表業務の品質管理におけるPDCAサイクルを着実に回すことにより、品質の維持・向上の実現に努めるとともに、民間委託業務の品質管理についても、適切な指導、連絡体制の整備を行い、精度の維持・向上に努めた。

製表業務の各段階における品質管理活動

| 段階 | 内容 |
|--------------------|--|
| 製表業務の各段階における品質管理活動 | |
| 受付整理 | ・ 調査書類の提出状況の管理及び安全確保 |
| データの入力 | ・ 調査票に記入されているマーク及び文字の読取精度を確保するため、読取テスト、不読文字修正の精度検証及び誤読管理 |
| 符号格付 | ・ 格付の検査・検証 ・ 検査結果の還元（中間研修、資料の発行） |
| データチェック | ・ コンピュータによる内容検査 ・ コンピュータ又は人手による補完 ・ チェック審査事務の検証 |
| 結果表審査 | ・ 正確性・妥当性の観点から、様々なデータを用いた審査 |
| 民間委託における品質管理活動 | |
| 受付整理 | ・ 調査書類の提出状況の管理及び安全確保 |
| データ入力 | ・ 文字入力業務における入力誤り検査 |
| 符号格付 | ・ 格付の検査・検証 |
| 製表業務全体にわたる品質管理活動 | |
| マニュアルの整備 | ・ 各製表事務における製表事務手続の整備 |
| 職員の教育 | ・ マニュアルに基づいた業務研修 ・ 新人職員や非常勤職員に対する研修 ・ 業務途中での中間研修 |
| 問題解決の専門チームによる指導 | ・ 疑義処理体制という問題解決のシステムの設置 ・ 解決方法を資料配布やミーティング・研修等により職員にフィードバック |

第2節 情報技術に関する品質向上への取組

情報技術に関する各種事務の品質の維持・向上を図るため、各業務の日常管理項目¹⁹及び品質管理項目²⁰の見直しを行うとともに、品質管理実施状況等について各種会議等を通して共有し、

¹⁹ 日常管理項目：各業務の作業工程において確認すべきチェックポイントをいう。

²⁰ 品質管理項目：日常管理項目のうち、特に当該業務の品質の状況を確認するための重要なチェックポイントをいう。

情報技術部内における品質管理活動の充実及び実施の徹底を図った。

情報技術に関する主な品質管理活動

| 業 務 | 内 容 |
|-------------------------------|--|
| 統計センターLAN等情報機器の運用管理における品質管理活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・統計センターLANサービスレベルの管理 ・運用状況の管理 ・OCR機の読取精度の管理 |
| データ等の管理における品質管理活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・台帳によるデータの管理 ・調査票等の入庫・出庫の管理 |
| 統計データの二次利用における品質管理活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・匿名データの管理 ・オーダーメイド集計結果の管理 ・サテライト機関の施設検査 ・寄託データの管理 |
| プログラム開発における品質管理活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・システム開発作業の管理 ・開発におけるスケジュール管理 |
| 政府統計共同利用システムの運用における品質管理活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・運用状況の管理 ・データ等の更新作業におけるチェックの二重化 |